

## 柳原義達

兵庫県神戸市出身の現代日本を代表する彫刻家の一人。東京美術学校(現・東京藝術大学)入学後は、近代彫刻の巨匠、オーギュスト・ロダンに影響を受けた高村光太郎などの彫刻家たちに傾倒していった。43歳からフランスに約4年間滞在して彫刻を学び直した。その当時出会った著名な現代彫刻家のアルベルト・ジャコメッティやマリノ・マリーニらに影響を受け、独自の世界観を確立した。その後、動物愛護協会から鳥の作品を依頼されて以来、鳩やカラスなどの鳥に関心を抱くようになり、それらを題材とする「道標」と名づけられた一連の作品は最もよく知られる柳原の作品となった。